

授業科目	* 緩和・終末期看護学				単位	1		
履 修	必修	関連資格			ナンバリング	NU21324J		
開講年次	3年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1			
担当教員	大嶋 満須美、小野 正子、中原 智美、笹月 桃子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>実務家教員として、医療現場(総合病院)におけるがん治療、終末期看護、緩和ケア、看取りなどの看護師経験をふまえて、実際の症例等を示しながら以下について解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん患者の特徴や治療をふまえた看護について解説する。</li> <li>・緩和ケア、ホスピスケア、終末期ケアの概念および終末期にある患者を総合的に理解し、緩和・終末期医療を受ける患者と家族のQOLの維持・向上を支える看護援助に必要な知識・理論を解説する。</li> </ul> <p>実務家教員として、小児科医師・小児科看護師としての終末期医療、緩和ケアの経験をふまえて、実際の症例等を示しながら、小児の緩和・終末期医療および看護について解説する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. がん治療における看護援助について述べるができる。</li> <li>2. 終末期にある患者とその家族の特徴を述べるができる。</li> <li>3. 緩和・終末期医療を受ける患者と家族のQOLの維持・向上を支える看護援助について述べるができる。</li> <li>4. 緩和・終末期医療におけるチーム医療の在り方を述べるができる。</li> <li>5. 死をめぐる倫理的課題をあげ、それに対する看護の役割を述べるができる。</li> <li>6. 小児の緩和・終末期ケアについて述べるができる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	90	0	10	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	60						60	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	30		5				35	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			5				5	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
目標1～6の内容を総合的に理解し、内容について正確に説明できる。事例に関する看護問題およびそれに対する援助方法を適切に列挙できる。				目標1～6の内容を理解し、内容の概要について説明できる。事例に関する看護問題およびそれに対する看護援助を80%程度列挙できる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:緩和・終末期看護学のガイダンスおよびがん看護学の概念 ・がん医療の基礎知識 ・がん医療が直面する課題と施策 (中原)	パワーポイント資料とテキストを用いた講義	復習:本日の授業内容の振り返り 予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく	60分(課題達成時間)
2	テーマ:がん治療と看護① ・薬物療法を受ける患者の看護 (中原)	パワーポイント資料とテキストを用いた講義	復習:本日の授業内容の振り返り 予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく	60分(課題達成時間)
3	テーマ:がん治療と看護② ・放射線療法を受ける患者の看護 (中原)	パワーポイント資料とテキストを用いた講義	復習:本日の授業内容の振り返り 予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく	60分(課題達成時間)
4	テーマ:がん治療と看護③ ・造血幹細胞移植を受ける患者の看護 (中原)	パワーポイント資料とテキストを用いた講義	復習:本日の授業内容の振り返り 予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく	60分(課題達成時間)
5	テーマ:がんの治療の場と看護 ・外来がん看護 ・がん患者の療養支援 (中原)	パワーポイント資料とテキストを用いた講義	復習:本日の授業内容の振り返り 予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく	60分(課題達成時間)
6	テーマ:緩和・終末期看護における諸概念① ・緩和・終末期看護の考え方 ・死にまつわる文化 (大嶋)	パワーポイント資料とテキストを用いた講義	復習:本日の授業内容の振り返り 予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく	60分(課題達成時間)
7	テーマ:緩和・終末期看護における諸概念② ・終末期にある人の療養の場 ・緩和・終末期ケアにおける倫理的課題 (大嶋)	パワーポイント資料とテキストを用いた講義	復習:本日の授業内容の振り返り 予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく	60分(課題達成時間)
8	テーマ:終末期患者とその家族の理解① ・終末期にある人の全人的苦痛 (大嶋)	パワーポイント資料とテキストを用いた講義	復習:本日の授業内容の振り返り 予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく	60分(課題達成時間)
9	テーマ:終末期患者とその家族の理解② ・終末期にある人の死にゆくことに対する態度 ・終末期にある人の家族 (大嶋)	パワーポイント資料とテキストを用いた講義	復習:本日の授業内容の振り返り 予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく	60分(課題達成時間)
10	テーマ:終末期にある人とその家族への看護援助① ・QOLの維持・向上への援助(リハビリテーション) ・希望を支える援助 (大嶋)	パワーポイント資料とテキストを用いた講義	復習:本日の授業内容の振り返り 予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく	60分(課題達成時間)

11	<p>テーマ：終末期にある人とその家族への看護援助②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意思決定を支える援助</li> <li>・予期的悲嘆への援助とスピリチュアルケア</li> <li>・遺族へのかかわり(グリーフケア)</li> <li>・死亡後のケア</li> </ul> <p>(大嶋)</p>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p>	<p>復習：本日の授業内容の振り返り</p> <p>予習：次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく</p>	<p>60分</p> <p>(課題達成時間)</p>
12	<p>テーマ：終末期にある患者の症状マネジメント①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・痛み、倦怠感、精神症状のマネジメントと薬剤の活用</li> </ul> <p>(中原)</p>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p>	<p>復習：本日の授業内容の振り返り</p> <p>予習：次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく</p>	<p>60分</p> <p>(課題達成時間)</p>
13	<p>テーマ：終末期にある患者の症状マネジメント②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浮腫、呼吸器症状、消化器症状のマネジメント</li> <li>・補完・代替療法と看護</li> </ul> <p>(中原)</p>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p>	<p>復習：本日の授業内容の振り返り</p> <p>予習：次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく</p>	<p>60分</p> <p>(課題達成時間)</p>
14	<p>テーマ：小児の緩和ケア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重篤な疾患や障害を抱える子どものための緩和ケアについて、成人の緩和ケアと異なる特徴など中心に概説する。</li> </ul> <p>(笹月)</p>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p>	<p>復習：本日の授業内容の振り返り</p> <p>予習：次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく</p>	<p>60分</p> <p>(課題達成時間)</p>
15	<p>テーマ：小児の緩和ケア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児の緩和・終末期看護について (小野)</li> </ul>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p>	<p>復習：本日の授業内容の振り返り</p> <p>予習：次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく</p>	<p>60分</p> <p>(課題達成時間)</p>
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	日常的に関連情報に関心を持って探求心を養って下さい。
テキスト	鈴木志津枝・内布敦子(編):緩和・ターミナルケア看護論, 第2版, ニューヴェルヒロカワ, 2015. 小松浩子他:系統看護学講座 別巻 がん看護学, 医学書院, 2017.
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書／神田清子, 二渡玉江(編):看護実践のための根拠がわかる 成人看護技術—がん・ターミナルケア, 第2版, メヂカルフレンド社, 2015. その他、がん化学療法やレジメンに関する書籍も指定図書として図書館に置いてありますので、是非活用してください。 データベース／医学中央雑誌, 最新看護索引web, CiINAHL などから関連事項を探してみましょう。 雑誌／ターミナルケア, 死の臨床, がん看護
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	・2人に1人が一生のうちのがんと診断されるといわれる時代、看護職としてがん患者へ看護を提供する機会は少なくありません。また、近年のがん医療は目覚ましいスピードで発展しており、医療現場では常に最新の情報を得ながらより良い看護を探求し、学び続ける姿勢が必要になります。この授業を通してがん患者やがん治療に関心を深め、講義内容が理解できるよう積極的に質問をしたり、日頃からニュースや新聞、文献、ドキュメンタリーなどにも目を向け情報を敏感にキャッチし、自らの感性を磨く姿勢を養って下さい。 ・この授業を通していのちと
達成度評価に関するコメント	複数の教師が担当しますが、定期試験は統合して行います。プリント・テキストのみならず、授業中の対話も注意深く理解するように心がけて下さい。